

平成 30 年度 地域ケアプラザ及びコミュニティハウス事業報告書

■ 施設名

新羽地域ケアプラザ

新羽コミュニティハウス

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザ及びコミュニティハウスの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ及びコミュニティハウス共通部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

安全に快適にご利用いただくために、定期的な点検など適切な維持管理に努め、長く市民の拠点として愛される拠点になるよう、保全に努めました。同時にアンケートや利用者全体会、ご意見箱などによりご利用の方からの声を集め、施設を安全・安心・清潔にご利用していただけるよう、丁寧な点検と管理を心掛け、団体の皆様にも安全な利用や備品の移動について発信しました。

年間を通じて清掃や点検専門の方々と情報共有を密にし、破損を未然に防ぎました。朝の外周を含めた清掃や、夕刻チェックの見回りなどで、異常の早期発見に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

他部門の業務を我がこととして遂行できるよう年間 4 回の全員会議と全員研修を組みました。

コミュニティハウスについては会議・学習室は団体利用の無いときには個人利用に開放するなど柔軟な対応を実施して施設稼働の向上に努めました。またアンケートや利用者全体会、利用後のお部屋チェック時の聞き取りやご意見箱などによってご意見を伺い、ご利用者にとってもスタッフにとっても効率的かつ有効な活用になるよう利用方法の検討を重ね、利用者全体会で報告もしました。

スタッフの動線も効率よいものになるよう、部屋の整理や置き場所、机の配置などの工夫を重ねました。

開館 4 年を経てパソコンの不具合が多発したことから、所内パソコンのネットワークを設営し直し、効率よく仕事が進められるようにしました。

(3) 苦情受付体制について

苦情や要望に迅速かつ適切に対応できるように、法人の福祉サービスに関わる苦情解決運用要領の中で、法人内苦情受付担当者、第三者委員会、苦情解決責任者及び苦情解決調整委員会が設置されています。職員の人権意識の現状把握、啓発及び研修を目的として、人権委員会を設置し本制度を補完しております。所長は苦情解決調整委員、地域包括支援センター社会福祉士が苦情受付担当者を担い、館内に掲示しました。

介護保険事業ではサービスご利用時の重要事項説明書に苦情相談受付窓口について明記しています。受付担当者をはじめ公的機関の苦情相談窓口等、丁寧な説明を心がけました。

館内の利用に関しても、苦情までいかないものについても即座にケアプラザ内で共有し、再発防止策を取り、ご利用者にも発信してまいりました。

利用者アンケートでお受けした改善要望などについても、適宜対策を講じ、カウンターや利用者全体会などで発信しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急連絡網及び緊急時の対応マニュアルを活用して、迅速かつ適切な対応に努めました。地震火災だけでなく、洪水想定の方災訓練の計画し、通報訓練・初期消火訓練・避難誘導・救命訓練を実施して、職員の防災意識の啓発と資質の向上に努めました。

また防火管理体制表に沿った訓練を実施し、避難誘導時の各職員の役割分担を再確認しています。職員全員研修では防火防災研修を実施しました。夕刻時に異常ないかの見回りをし、かつ施設閉館時はセキュリティロックを掛けて出ています。

災害備蓄品の置き場については、職員が備蓄箇所ツアーをして日頃から置き場所を想起しやすいようにしました。

緊急時のスタッフ安否と初動の確認のための、災害時通信訓練も継続して年2回実施しました。

(5) 事故防止への取組について

壁やスライドウォールの破損などは表示をし、かつ迅速な修理をすることによって事故を未然に防いでまいりました。

事故情報について、日々のミーティングや会議等で職員間での情報の共有、事故原因の検証を迅速に実施し、再発防止に取り組みました。

建物や設備等については、日常点検と委託業者による定期点検を実施して、事故の発生を未然に防ぐよう環境整備に努めました。

貸館事業では、備品等の日々のチェックによる環境整備、業務の見直しと研修により、業務の標準化を図り事故防止に努めました。

時計の落下、利用時の落下や転倒が無いようネジ締め直しを全館いたしました。

長机の移動時転倒についてはすぐに検証作業を行い、利用者にも移動方法の徹底のお願いを利用者全体会でいたしました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法令及び横浜市の個人情報の保護に関する条例や法人の個人情報管理規程に基づいて、適切な対応をしました。所長は個人情報管理者を担い、個人情報管理委員会の定めた取り組み計画等に従って、所属事業所における個人情報管理に関する取り組みを推進する責務を負っています。個人情報保護に関する基本方針や個人情報の利用目的について等を館内に掲示して、個人情報保護の意識を高めてまいりました。職員は個人情報漏えい事例の情報共有等研修の機会を持ち、また個人情報漏えい防止チェックシートによる自己点検での振り返りを実施して定期的な注意喚起に努めました。また漏洩リスクのある場面については、ミーティングなどで幾度でも確認をし、保護意識を高められるようにしてまいりました。

(7) 情報公開への取組について

運営協議会や法人機関紙「共生」やケアプラザ広報紙の発行、法人、区のホームページ、介護保険事業では介護サービス情報公表などにおいて、地域の皆様に、わかり易く親しみやすい手段・方法での情報公開に努めました。

紙媒体の広報の他、ホームページやフェイスブックの充実に努め、見やすい画面を目指して編集作業を続けてきました。

イベントなどの情報や、地域の活動団体の情報などを館内掲示板でも発信しました。

(8) 人権啓発への取組について

あらゆる方にとって暮らしやすい社会であるために、そして利用しやすいケアプラザであるために、日々のミーティングや研修の中で、職員間で人権や高齢であることについて考える、体験する機会をもうけました。キーワードは『想像力!』。ロビーでは地域作業所のご利用者が直接活動や手作りの作品を紹介するようなコーナーを、継続して開いてきました。

また法人内に人権委員会を設置しており定期的に法人内の障がいの事業所やケアプラザが集まり事故や苦情などについて話し合いを行って来ました。年に一回、法人の事業所の職員が一堂に集まり人権について考える研修も実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

電気の過度な利用をしなくて済むよう、電気量削減システムを整備いたしました。

これにより人の感じる温度に近いまめな空調管理ができるようになりました。

高齢の方から冬場部屋が温まりにくいとのお声をいただき、利用のある部屋については朝ブラインドを開けて日差しを活用するなど、節電運営を心掛けてきました。

小さなお子さんも多いので、換気や適度な温度管理により快適な環境の維持に努めました。

ゴミの減量化・資源化・省エネ・緑化の推進に積極的に取り組んで参りました。裏紙の再利用や段ボール古紙などの資源化に通年で取り組みました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

市営地下鉄ブルーライン沿線の、住宅と倉庫・工場などが混在した地区です。地区の西側の岡は市街化調整区域になっていて、地区の東側と南側は鶴見川に面しています。地区内に新羽駅と北新横浜駅を持ち、また高速横浜環状北線の出入り口ができました。近くには新羽町南町内会館ができました。

高齢化率は19.3%でゆるやかに上昇を続けました。高齢者の単身世帯や高齢夫婦のみの世帯は増加傾向にあります。

高齢者住宅や介護保険施設、事業所が多いのも特徴です。新羽の未来をつくる会による駅近くのガード下美化活動が継続されていて、特に夏場の水やりなどケア担い手の不足が課題となっていました。今年度園芸口座からガーデニングボランティアが誕生しました。情報発信部会など、活躍している部会ほど、編集に関わる方を増やしたい課題がみえており、昨年度より発信を始めて、新たなメンバーが加わりました。

交流部会は料理教室だけでなく、その活動の場を地域にも広げる構想があり、緑道で人の集まるバーベキューを実施しました。見守り部会も近隣への興味をもとう、というPR活動や、高齢の方を守る見守りカードなどツールの活用を検討していきました。

年齢を問わず、わいわい一緒に食べられる場を・・・と昨年度始まった地域食堂のサポートに子ども部会が関わりました。

災害時の実際の動きや『できるだけ自宅避難』などの知識が浸透していないことに、地域自体が課題意識を持っています。また実際の避難所運営を考えた訓練内容に変える工夫も重ねてきています。地区の防災訓練ではこの地域の水害時に起こりうる状況についても参加者にPRしました。

多くの多彩な地域の活動をより多くの方に知っていただくこと、より多くの方で担って継続していくことは継続した課題です。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

来所される方から幅広い分野の相談を受けることが増えているため、区役所や5階にある地域生活支援センター海、区の基幹相談支援センターなどとも協力して相談の対応に努め、基幹相談支援センターと共同で「高齢者と障害を知る」というタイトルで研修を行いました。また、多世代を見守りしてくださっている民生児童委員協議会にも定期的に顔を出し、情報交換を定期的に行いました。

(2) 各事業の連携

ケアプラザの自主事業については、地域包括の2職種＋地域活動交流のコーディネーター、生活支援コーディネーターの4職種の協働で実施しました。また居宅介護支援部門と包括の連携によって施設見学会も実施しました。

新羽地区の地域福祉保健計画推進委員会や分科会の検討では、地域包括の2職種も地区のサポートスタッフをコーディネーターと共に担い、地域情報を共有してそのサポートに当たりました。

日々の情報交換や定例会議等での情報共有により、4職種の連携の下、適切な事業運営ができるよう月2回定期的なミーティングを持ちました。

個別レベルの地域ケア会議については、毎回連携して準備開催し、課題を地域と共有できるよう振り返りをしていきます。その中から共通する課題を包括レベルの地域ケア会議で検討し、今後の暮らしやすい社会へ向けて、地域と実現可能なシステム作りの検討を進めました。

健康維持の企画や、認知症予防、認知症サポーター養成講座など理解を広める講座などを包括と生活支援が連携して実施します。またエリアを絞って、地域の方が元気で暮らす工夫作りを企画しました。

所内の事業連携だけでなく、防災やイベントにおいて、また個別の相談支援においても、地域生活支援センター海やしんよこはま地域活動ホーム、基幹相談支援センターと連携しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

全職員研修を年5回実施するほか、法人あげての人権研修や外部研修及び伝達研修によって研鑽をはかりました。個人情報保護や救急対応、防災などの研修はもとより、気持ちよく使っていただくための接遇、ケアプラザの役割とは何か、各種の事業がどんな目的のもとに行われるのか、高齢障がいの方々はどのような状況で来館されているのかを理解するケアプラザ研修、など各種の研修を組みました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域とケアプラザ、団体とケアプラザ、個人とケアプラザ・・・との橋だけでなく、地域、福祉施設、団体相互、ボランティアなどが流動的に知り合える仕組みを作りました。

ご利用団体説明会で相互に知り合う時間を作りました。にっぽらっぴフェスティバルで活動発信をしてまいりました。ボランティアしたい団体や個人を地域の中の施設につながりました。

地域のひっとプラン・各部会のサポートを、情報共有しながら進めてまいりました。

(5) 区行政との協働

介護予防、地域ケア会議、地域の生活支援体制整備、地域の福祉計画の推進など、サポートスタッフとしての方向性やプロセスを共有できるよう、定例会議を含め、まめに情報意見交換しました。6月2月には子ども家庭支援課や生活支援課の地区担当職員を交え、全体会議も行いました。また講座から生まれた事後サークルの活動支援などについても協力して進めていきました。ひっとプランの部会活動においても、区とケアプラザスタッフとでサポートに入りました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

昨年に引き続き、ケアプラザに足を運んでもらう機会が少ない子育て世代に向けた新しい事業を企画しました。

■ 子育て支援

- ・ 子育てサロン「たんぽぽにっば」、「たんぽぽきたにっば」

■ 障がい児支援

- ・ 「こうほく・なつとも」年 1 回
- ・ 「こうほく・からふる」年 3 回（小学生、中学生、高校生版）

■ 地域一般支援

- ・ 新羽音楽会 年 3 回 ①アルパ、②親子コンサート、③鶴見高校 OB 吹奏楽団
- ・ にっばらっばフェスティバル

■ コミュニティハウス事業

- ・ 夏休み駆け込み木工教室
- ・ 60 歳以上向けパーソナルカラー講座
- ・ 子育てママ向けパーソナルカラー講座

以上の自主企画事業を実施いたしました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域活動の紹介や自主事業への協力等、趣味を目的とする活動団体の中に、福祉保健活動が位置づけられるように、月 1 回開催の予約会や利用者全体会議での情報共有の場をつくりました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

昨年立ち上がった地域食堂運営団体の後方支援のほか、既存の団体への新規ボランティア獲得のための支援を行いました。

- ・ 地域食堂運営団体「チームおいもほり」ダイニング 28 運営支援
- ・ 新羽の未来をつくる会 ガーデニング講座 開催支援
- ・ ひっとプラン新羽地区推進委員会 情報発信部会 新たな担い手創出支援

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

福祉保健活動団体に自主事業への協力依頼や地域活動への参加を促したりしました。

- ・ 事業企画内での補助
- ・ 子育て向けのパーソナルカラー講座（保育ボランティア）
- ・ 館内整備ボランティア調整（プレイルームマッド拭き、おもちゃ清掃、館内スリッパ拭き等） など

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- コーヒーボランティア講座を開催し、ボランティア団体の増員へとつなげました。
- 高齢者の交流の場を持つときに、お手伝いいただけるグループへと繋がる講座「パン de カフェ plus」を開催し、サークル化しました。
- 体を動かすことが苦手な方でも参加できる音楽療法を問い入れた講座を開催しました。
- ボランティア活動者の意欲向上のため、シニアボランティアポイント研修会や、ボランティア交流会を実施しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 毎月開催される老人会や地域行事へ参加し、ニーズの拾い上げに努めました。地域の人との何気ない会話の中から、新しい人との出会いにつながるような機会を見つけ出し、出向くよう努めました。
- 貸館利用団体からの要望に耳を傾け、新しい団体の立ち上げをサポートしました。
- 地域貢献したいという事業所とのつながりを活かせるよう、ニーズとの調整に努めました。
- 新しく立ち上がったサービス B 実施団体の相談や、広報支援を行いました。

(3) 連携・協議の場

協議体「みどりの輪 きたにっば」の周知と活動の定着に努めました。住民に広く知ってもらうため、メンバーと協働して多世代イベントを開催しました。いろいろな場で広報することで、新しい協力者にも出会うことができました。協議の場を定期的に持つことで、ちょっと気になることやアイデアなどを出す場にもなっています。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

市内の生活支援コーディネーター勉強会に参加して情報収集に努めました。区内コーディネーター連絡会に参加し、区役所や区社協だけでなく、関係する企業等とのつながりを考えました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

・ 地域における問題解決に向けて多職種、ケアプラザで地域ケア会議を重ねることができ、新羽地区の見守りシステムの実現に向けて動き始めました。また、身近な相談の場として通信等でケアプラザの周知や地域に出向くことで連携ができるようになりました。

②実態把握

・総合相談票を用いて情報の分析を行い支援の強化を図りました。JAGES データを参考にしながら、地域の老人会や行事に出向いて相談や困りごとを共有し、顔の見える関係を築くことで地域や個人の問題を把握でき支援に役立てることができました。

③総合相談支援

・総合相談は横ばいながら多問題を抱えた相談が多くなり、所内で共有できるように相談票の管理方法や、ミーティング時間を持つようにし、早期に対応できるようにところがけました。また、専門職同士の連携も事例検討を行い解決に向けて支援方法を分担しました。

・地域住民には身近な相談窓口として通信や出向いての周知を行いました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・成年後見、相談、遺言、年金、消費者被害防止などの制度の知識を得られるように継続的に周知しました。具体的に年間通じて定期講座開催や通信等でまめ知識として情報を提供しました。

・区役所、法律職、市民後見人との連携のため成年後見サポートネットへ参加して他職種と連携をしました。

②高齢者虐待への対応

・高齢者虐待を把握した時は、虐待専用の相談票に記載し情報を明確にし、区と連携しながら早期改善に向けて対応するように努めました。

・高齢者虐待を未然に防ぐ観点から、介護者のつどい～カフェっぱ～を開催し、介護者の不安に対して顔の見える関係づくりをところがけ相談機関として周知に努め、また、介護の負担軽減できる工夫などの知識、意識付けを講座等で行いました。

③認知症

・地域向けに認知症の正しい理解と予防に向けた取り組みとして、認知症サポーター養成講座を地域の中学生向けに継続的に行い、地域の企業や事業所向けにも取り組みました。講師役のキャラバンメイトとの連携も行いました。

・認知症予防カフェの充実化と予防の拠点となるよう、認知症カフェ「お茶処ココロ庵」は地域住民のボランティアと共同でケアプラザ内で年5回開催し、次年度も継続していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

・地域の特性を相談や地域に出向いての情報やケアプラザに集まる情報を把握し、地域住民、関係機関に必要な情報を提供し、住民による支援や専門職との連携が円滑に行えるように地域ケア会議を開催しました。また、毎月の民生委員児童委員協議会の参加やひっとプラン推進会議への継続参加を行い地域の活性化や安心できる街づくりをこころがけました。

②医療・介護の連携推進支援

・ケアマネジャーと管轄エリアの医療機関との連携として介護者のつどいの場で講座開催し交流の場を提供し、また、高齢者虐待講座も出向いて行いました。特に、ケアマネジャーからの相談が多い医療と福祉の連携や介護保険、傷害制度、多問題家族へのアプローチなど随時検討会を行いました。

③ケアマネジャー支援

・ケアマネジャーと情報共有するために、定期的に地域の民生委員との懇談会や区との定例カンファレンスの際に参加を呼びかけ顔の見える関係づくりを行い、困難事例は区や地域との関係調整を行い、アプローチ方法を一緒に考えました。インフォーマル情報も冊子を作り活用してもらいました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・地域ケア会議で事例検討を重ね、ケアプラザ、他職種連携でき顔の見える関係作りをしネットワーク体制を整えることができ、支援環境や地域の見守りシステムが実現に向けて動き始めました。

・協力医と講座を開催したり、さらにケア会議などに参加いただけるよう、多忙な多職種が参加できる日程調整をしていくことが今後の課題と考えています。

・港北区在宅医療推進室等とは医療や福祉の最新動向共有や、地域向けの講座など依頼し地域支援還元に努めました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

・利用者との信頼関係を大事にし、プランナーを交え安心してサービスを利用し、介護予防に取り組めるようアセスメントを行い、利用者自身が介護予防を実施でき、評価できるような支援に努めました。また、困難ケースは地域や区、事業所等と連携し早期対応に心がけたケアマネジメントができるように努力しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

・介護予防普及啓発としては、地域住民が高齢になっても安心していつまでも元気で過ごす場づくりとして、介護予防教室を6回コースと、身近な地域で参加者本人と仲間、そして地域も元気にする自主活動できる元気づくりステーションの立ち上げ講座を開催し、介護予防教室は「月曜サロン」として、元気づくりステーション講座は新羽地区初の元気塾「新羽」として自主的な活動グループが誕生しました。早い時期から身体づくりを意識してもらうため「おとなの筋活 腰痛予防塾」も開催しました。

・地域介護予防としては、昨年自主グループに対して活動の活性化できるようにスキルアップ講座を開催しました。

各活動グループに対して継続して支援に努めました。

5 その他

多世代にわたり、来所する方が増えており、気持ちよく安心して過ごせ、相談できる場となるよう館内の緑化維持や整備、挨拶などに努めました。ロビーの掲示物やプレイルームの本、おもちゃにも季節が意識できるよう工夫を重ね、また、法人内外の地域事業所と協働し、ロビーを活用した出会いの場づくりを作ってきました。同じ施設の中に地域生活支援センター海があることや、基幹相談支援センターなど障害の方々を支える機関があることを、ケアプラザ・コミュニティハウス同様 PR に努めました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師 1名(常勤、管理者兼務)
社会福祉士 1名(常勤)
介護予防プランナー(非常勤)
計3名体制。

《目標に対する成果等》

・利用者との信頼関係を大事にし、プランナーを交え安心してサービスを利用し、介護予防に自ら取り組めるようアセスメントを行い、利用者自身が介護予防を実施でき、評価できるような支援に努めました。また、困難ケースは地域や区、事業所等と連携し早期対応に心がけたケアマネジメントができるように努力しました。

《実費負担(徴収する場合は項目ごとに記載)》

●通常のサービス提供地域を超える地域への訪問・出張の際にはその旅費(実費)のご負担をお願いすることと契約時お伝えしてありますが、実際にはありませんでした。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

プランの作成にあたっては、他の職種との連携を図り、専門職の意見を聞いて作成しました。法人内に弁護士・臨床心理士・医師等の専門職がおり、相談しやすい環境は整えました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	96	100	99	97	97
10月	11月	12月	1月	2月	3月
101	104	105	101	103	105

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員	管理者（常勤兼務）	1名
	常勤	1名
	非常勤	1名

《目標に対する成果等》

1. 住み慣れた地域でその人らしく自立した生活が営むことを目標とし、ご利用者の意思を尊重し、心身や置かれている環境状況等に応じた居宅サービス計画の作成に努めました。
2. サービス提供にあたっては、サービス種類や事業所に偏ることなくまた、介護保険サービスのみならず地域のインフォーマルサービス情報も情報提供して、ご利用者ご自身にあった、より良いサービスをご自身で選択できるように支援いたしました。
3. 外部研修により最新の情報を収集し、福祉拠点のケアプラザとしての責務を果たしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 介護保険改正がありますが、円滑にご利用が続けられるようご案内しました。
- ・ 主任介護支援専門員を取得し、支援体制の強化をはかります。
- ・ 同法人内の4か所の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが定期的に集まり、制度の解釈情報交換、事例検討、研修などを実施し、ケアマネジメントの質の向上に努めました。法人内で弁護士や心理療法士、医師等の専門職に相談することができ、自己研鑽の機会が多く設定されています。また近隣の居宅介護支援事業所と協働のもと情報交換・事例検討の場“丘の上倶楽部”を2カ月に1回開催しました。
- ・ 地域に数多くある福祉施設と地域の方々との橋渡し役として、地域の福祉施設の理解を深めることを目的とした、地域の福祉施設見学会を近隣の老人保健施設と企画共催で年1回開催しました。
- ・ これから就労予定のケアマネジャーや新任ケアマネジャーの研修を積極的に受け入れていきます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
52	51	51	52	52	53
10月	11月	12月	1月	2月	3月
53	55	53	51	50	50

● 通所介護・認知症対応型通所介護 【デイサービスなし】

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

【デイサービスなし】

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 円

（要支援1） 円

（要支援2） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

コミュニティハウス事業

(1) 運営方針

地域住民が自ら生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、クラブ活動等を通じて相互の交流を深めるための場の提供をするとともに、地域住民の福祉の向上を図るための自主事業を企画して、地域住民の自主的な活動を支援しました。地域住民の、子どもから高齢者まで幅広い層の誰もが気軽に利用し、様々な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成や地域の連携が実現します。ケアプラザのようにその活動が福祉保健の活動に特化しているのではなく、取り組みやすいスポーツや趣味等のサークル活動の、仲間との交流を通して互いに支え合い、その支えあいを広げていく場となりました。

(2) 運営目標

より幅広く多くの方々にご利用いただけるように運営してまいりました。貸館はケアプラザと一体的に運用しますが、利用予約に関し、公平でわかりやすいルールを策定して受付・調整を行いました。また、利用者会議やアンケートを通して意見・要望等をいただき、それらに応えつつ、その中に潜む地域福祉保健の課題を見出して、必要に応じてケアプラザ事業等につなげ、課題解決に向けて地域と協働して参りました。

また、コミュニティハウスの機能を活かして、旬の講座をきっかけに、これまでケアプラザに足を踏み入れていない層に対して企画をいたしました。

コミュニティハウスの登録団体が、ボランティア活動にご興味を持ってくださるよう、また利用者懇親会をきっかけに双方の登録団体の交流が始まるように働きかけてまいりました。

(3) 自主事業目標

- ・ケアプラザと合同のにっぽらっぱフェスティバル
- ・夏休み駆け込み木工教室
- ・パーソナルカラー講座を開催

いろんな年齢層の方が出入りするコミュニティハウスの特徴を活かし、利用団体のご協力も得ながら、利用者とともに検討をしてきました。

また参加者がケアプラザ・コミュニティハウスの機能を知って地域に拡散くださるよう、アナウンスをしました。また参加者やご利用団体の皆さまが、地域活動やボランティア活動にご興味を持っていただけるよう、フロアの掲示物や予約会のアナウンスなどを工夫してまいりました。

平成30年度「新羽地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,875,658	0	15,875,658	15,401,658	474,000	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	4,711	△ 4,711	
雑入	0		0	59,489	△ 59,489	
印刷代	0		0	30,749	△ 30,749	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	28,740	△ 28,740	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	15,875,658	0	15,875,658	15,465,858	409,800	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,000,000	0	10,000,000	10,419,594	△ 419,594	
本俸	6,200,000		6,200,000	6,650,600	△ 450,600	
社会保険料	1,000,000		1,000,000	1,084,348	△ 84,348	
手当計	2,500,000		2,500,000	2,422,643	77,357	
健康診断費	35,000		35,000	21,938	13,062	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	85,000		85,000	84,270	730	
その他	180,000		180,000	155,795	24,205	
事務費	2,167,200	0	2,167,200	1,796,526	370,674	
旅費	60,000		60,000	44,980	15,020	
消耗品費	300,000		300,000	254,150	45,850	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	45,000		45,000	64,952	△ 19,952	
通信費	366,880		366,880	370,124	△ 3,244	
使用料及び賃借料	0	0	0	138,540	△ 138,540	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	138,540	△ 138,540	
備品購入費	300,000		300,000	421,675	△ 121,675	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	65,000		65,000	53,741	11,259	
職員等研修費	15,000		15,000	50,470	△ 35,470	
振込手数料	35,000		35,000	40,153	△ 5,153	
リース料	700,000		700,000	40,656	659,344	
手数料	10,000		10,000	10,584	△ 584	
地域協力費	20,000		20,000	39,000	△ 19,000	
その他	250,320	0	250,320	267,501	△ 17,181	
事業費	247,715	0	247,715	215,523	32,192	
運営協議会経費	42,000		42,000	22,432	19,568	
指定管理料充当 事業	205,715		205,715	193,091	12,624	
管理費	2,660,743	0	2,660,743	1,894,286	766,457	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	700,000	0	700,000	962,222	△ 262,222	
電気料金	640,000		640,000	864,759	△ 224,759	
ガス料金	15,000		15,000	20,994	△ 5,994	
水道料金	45,000		45,000	76,469	△ 31,469	
清掃費	700,000		700,000	666,548	33,452	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	160,000		160,000	154,347	5,653	
設備保全費	152,743	0	152,743	111,169	41,574	
空調衛生設備保守	64,310		64,310	51,450	12,860	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	88,433		88,433	59,719	28,714	
共益費	0		0	0	0	
その他	474,000		474,000	0	474,000	
公租公課	800,000	0	800,000	833,567	△ 33,567	
事業所税			0	0	0	
消費税	800,000		800,000	833,567	△ 33,567	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対応費			0	0	0	
支出合計	15,875,658	0	15,875,658	15,159,496	716,162	
差引	0	0	0	306,362	△ 306,362	

自主事業費収入	205,715		205,715	4,711	201,004	自主事業への参加料等
自主事業費支出	205,715		205,715	193,091	12,624	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 188,380	188,380	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「新羽地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	17,124,287	0	17,124,287	15,923,884	1,200,403	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	109,000	△ 109,000	
雑入	0	0	0	4,020	△ 4,020	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	4,020	△ 4,020	
その他（提案時控除 法人負担分）			0		0	
収入合計	23,064,287	0	23,064,287	21,976,904	1,087,383	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	19,930,000	0	19,930,000	16,798,557	3,131,443	
本俸	11,000,000		11,000,000	8,453,416	2,546,584	
社会保険料	2,700,000		2,700,000	2,235,333	464,667	
手当計	5,500,000		5,500,000	5,368,299	131,701	
健康診断費	30,000		30,000	23,694	6,306	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	300,000		300,000	263,940	36,060	
その他	400,000		400,000	453,875	△ 53,875	
事務費	1,234,286	0	1,234,286	1,492,573	△ 258,287	
旅費	50,000		50,000	59,230	△ 9,230	
消耗品費	200,000		200,000	146,436	53,564	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	4,877	△ 4,877	
通信費	300,000		300,000	311,258	△ 11,258	
使用料及び賃借料	0	0	0	138,540	△ 138,540	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	138,540	△ 138,540	
備品購入費	30,000		30,000	653,143	△ 623,143	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	0	10,000	
職員等研修費	10,000		10,000	10,500	△ 500	
振込手数料	20,000		20,000	22,009	△ 2,009	
リース料	12,000		12,000	10,800	1,200	
手数料	20,000		20,000	14,588	5,412	
地域協力費	2,000		2,000	0	2,000	
その他	580,286	0	580,286	121,192	459,094	
事業費	1,192,858	0	1,192,858	426,524	766,334	
協力医	630,000		630,000	21,000	609,000	
指定管理料充当 事業（包括）	102,858		102,858	20,432	82,426	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	150,039	961	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	235,053	73,947	
管理費	707,143	0	707,143	503,537	203,606	
建築物・建築設備点検	0		0		0	
光熱水費	170,000	0	170,000	255,780	△ 85,780	
電気料金	135,000		135,000	229,873	△ 94,873	
ガス料金	8,000		8,000	5,580	2,420	
水道料金	27,000		27,000	20,327	6,673	
清掃費	200,000		200,000	177,179	22,821	
修繕費	126,000		126,000		126,000	
機械警備費	40,000		40,000	41,028	△ 1,028	
設備保全費	32,000	0	32,000	29,550	2,450	
空調衛生設備保守	17,000		17,000	13,676	3,324	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	15,000		15,000	15,874	△ 874	
共益費	0		0		0	
その他	139,143		139,143		139,143	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	23,064,287	0	23,064,287	19,221,191	3,843,096	
差引	0	0	0	2,755,713	△ 2,755,713	

自主事業費収入	0		0	109,000	△ 109,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	405,524	△ 405,524	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 296,524	296,524	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度「新羽コミュニティハウス」
収支予算書及び報告書(一般会計)<コミハ>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	6,695,000		6,695,000	6,695,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	6,695,000	0	6,695,000	6,695,000	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	4,357,000		4,357,000	2,437,578	1,919,422	
本俸	3,500,000		3,500,000	2,278,740	1,221,260	
社会保険料	230,000		230,000	18,418	211,582	
手当計	180,000		180,000	130,750	49,250	
健康診断費	25,000		25,000	7,020	17,980	
勤労者福祉共済掛金	0		0	2,650	△ 2,650	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	422,000		422,000	0	422,000	
事務費	550,000		550,000	526,805	23,195	
旅費	0		0	0	0	
消耗品費	90,000		90,000	88,212	1,788	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	200,000		200,000	82,734	117,266	
使用料及び賃借料	60,000		60,000	0	24,600	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	60,000		60,000	35,400	24,600	
備品購入費	20,000		20,000	253,498	△ 233,498	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	27,639	△ 27,639	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	20,000		20,000	648	19,352	
リース料	30,000		30,000	25,008	4,992	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	120,000		120,000	13,666	106,334	
事業費	250,000		250,000	0	250,000	
運営協議会経費			0	0	0	
指定管理料充当 事業	250,000		250,000	0	250,000	
管理費	1,407,000		1,407,000	1,152,143	254,857	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	650,000		650,000	578,896	71,104	
電気料金			0	531,884	△ 531,884	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	47,132	△ 47,132	
清掃費	484,534		484,534	409,949	74,585	
修繕費	0		0	0	0	
機械警備費	95,000		95,000	94,929	71	
設備保全費	43,086		43,086	68,369	△ 25,283	
空調衛生設備保守	39,554		39,554	68,369	△ 28,815	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	3,532		3,532	0	3,532	
共益費	0		0	0	0	
その他	134,380		134,380	0	134,380	
公租公課	0	0	0	195,006	△ 195,006	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	195,006	△ 195,006	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	6,564,000	0	6,564,000	4,311,532	2,252,468	
差引	131,000	0	131,000	2,383,468	△ 2,252,468	

自主事業費収入	250,000		250,000	11,589	238,411	
自主事業費支出	250,000		250,000	97,096	152,904	
自主事業収支	0	0	0	△ 85,507	85,507	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい 「カフェっぱ」	①地域住民	11136	地活					
	②15名		包括	11,136円				
	③0円		介護				7,389	3,747
			生活					
			コミハ					
未来これから塾	①地域住民	9296	地活					
	②20名		包括	9,296円				
	③0円		介護				9,296	
			生活					
			コミハ					
キャラバンメイトのつどい	①地域住民	0	地活					
	②20名		包括					
	③0円		介護					
			生活					
			コミハ					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			コミハ					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			コミハ					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			コミハ					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			コミハ					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			コミハ					

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
コーヒーボランティア講座	①地域住民	18451	地活	4000		10000	8451	
	②29名		包括					
	③500円(初回のみ)		介護					
			生活					
	コミハ							
コーヒーボランティア・ス テップアップ講座	①地域住民	7400	地活			5000	2400	
	②12名		包括					
	③0円		介護					
			生活					
	コミハ							
パンdeカフェplus	①地域住民	144441	地活	70000		71272	69173	3996
	②70名		包括					
	③1000円		介護					
			生活					
	コミハ							
ドレミで10歳若返り♪ス マイル広場	①地域住民	47340	地活	35000		36000		11340
	②70名		包括					
	③500円		介護					
			生活					
	コミハ							
よこはまシニアボランティ アポイント登録研修会	①地域住民	0	地活					
	②5名		包括					
	③0円		介護					
			生活					
	コミハ							
ボランティア交流会	①地域住民	8933	地活			6000		2933
	②14名		包括					
	③0円		介護					
			生活					
	コミハ							
みどりの輪 きたにつば	①地域住民	8488	地活				8488	
	②40名		包括					
	③0円		介護					
			生活					
	コミハ							
	①地域住民	0	地活					
	②		包括					
	③		介護					
			生活					
	コミハ							
	①地域住民	0	地活					
	②		包括					
	③		介護					
			生活					
	コミハ							
合計								

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
たんぽぽにつば たんぽぽきたにつば	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②1,007名(全20回)		包括						
	③なし		介護						
			生活						
			コミハ						
こうほくからふる	①障がい児	11774	地活	11,774	0	0	0	0	11,774
	②18回(1回6名×3回)		包括						
	③なし		介護						
			生活						
			コミハ						
ドレミっぱ♪ 新羽音楽会	①地域住民	63411	地活	63,411	0	0	63,411	0	0
	②210名(全3回)		包括						
	③なし		介護						
			生活						
			コミハ						
につばらっぱ フェスティバル	①地域住民	117906	地活	113,135	0	4,771	0	0	117,906
	②949名		包括						
	③なし		介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
夏休み駆け込み 木工教室	①小学生の親子	11936	地活		800		11,136	800	
	②8組の親子		包括						
	③100円		介護						
			生活						
			コミハ	11,136					
パーソナル カラー講座	①60歳以上	10930	地活			4,000	10,000	930	
	②8名		包括						
	③500円		介護						
			生活						
			コミハ	6,930					
パーソナル カラー講座	①未就園児のママ	16942	地活			4,500	12,000	942	4,000
	②9名		包括						
	③500円		介護						
			生活						
			コミハ	12,442					
にっぱらっぱ フェスティバル	①地域住民	57288	地活	54,999		2,289		57,288	
	②949名		包括						
	③なし		介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						
		0	地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			コミハ						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カフェっぱ	<p>【対象者】 介護をしている方や介護予防に興味のある住民</p> <p>【目的】 日頃、介護をしている方や介護予防に興味を持ち介護予防を学びたい方むけに、専門職からのミニ講座うけたり地域の民生委員や介護事業所と顔の見える関係づくりをして介護の負担軽減を目指す。</p> <p>【実施内容等】 1回目：介護保険案内と健康茶話会 2回目：施設見学 3回目：お口の健康と交流会</p>	年3回（6月・10月・1月）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
未来これから塾	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 権利擁護の啓蒙活動</p> <p>【実施内容等】 1回目：家計の管理・賢いマネープランを学ぶ 2回目：相続・遺言・後見を学ぶ 3回目：きちんと整理収納。片付けを学ぶ 4回目：一緒に向き合うエンディングノート</p>	年4回（10月・11月・12月・1月）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
キャラバンメイトのつどい	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 認知症サポーター養成講座を開催し、キャラバンメイトとしての活動を進めつつ、自分たちのスキル向上や情報交換の場とする。</p> <p>【実施内容等】 新羽中学生向けのサポーター養成講座の準備。シナリオ作成から道具製作までを自分たちで行う。</p>	年4回（12月・1月・2月・3月）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	<p>【対象者】</p> <p>【目的】</p> <p>【実施内容等】</p>	

平成30年度 自主事業報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コーヒーボランティア講座	<p>【対象者】 ボランティアに興味のある地域の方</p> <p>【目的】 コーヒーボランティアの養成</p> <p>【実施内容等】 1日目：講義「コーヒーの基礎知識」 2日目：コーヒーの淹れ方実習 3日目：ボランティア活動や認知症について学ぶ&練習 4日目：カフェ・ド・らんらんボランティア体験</p>	<p>全4回 6月16日（土）、 23日（土）、 29日（金）、 7月6日（金）</p>
コーヒーボランティア・ステップアップ講座	<p>【対象者】 コーヒーボランティア講座修了生</p> <p>【目的】 コーヒーボランティア講座修了生のスキルアップと、1期生2期生のコーヒーボランティアに対する認識の統一を図る。</p> <p>【実施内容等】 コーヒーの淹れ方実習 交流会</p>	<p>8月30日（木）</p>
パンdeカフェ plus	<p>【対象者】 地域貢献に興味のある住民</p> <p>【目的】 地域ボランティアもできるサークルの発足</p> <p>【実施内容等】 パンの作りの基礎から焼いたパンに合うサイドメニューや、ケーキ作りなどを学ぶ。 毎回パン教室にプラスαのある講座。</p>	<p>全8回 5月23日 6月27日 7月25日 8月22日 9月26日 10月24日 11月28日 12月19日 (全て水曜日)</p>
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	<p>【対象者】 65歳以上でボランティア活動をしている方または始めたい方</p> <p>【目的】 ボランティア活動に+αのやりがいを持ってもらう</p> <p>【実施内容等】 1. 「よこはまシニアボランティアポイント事業」の概要 2. ボランティアの基礎知識及び活動する際の留意点 3. ボランティア初心者向け説明</p>	<p>10月9日（火）</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	【対象者】 ボランティア活動者 【目的】 団体間の情報交換とボランティアのスキルアップ 【実施内容等】 講座（輝く笑顔の作り方・体、顔、心をほぐす体操・笑いヨガ） 懇談会	3月13日(水)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドレミで10歳若返り♪スマイル広場	【対象者】 おおむね60歳以上の地域住民 【目的】 介護予防運動に取り組む新しい人材の発掘 【実施内容等】 ・歌唱 ・口腔機能強化 ・音楽コグニサイズ ・音楽脳トレ	全7回 9月27日 10月25日 11月29日 12月27日 1月24日 2月28日 3月28日 (全て木曜日)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
みどりの輪きたにっば	【対象者】 北新羽地域住民 【目的】 協議体の周知と集いの場の定期的な開催 【実施内容等】 しめ飾りづくり 太極拳 茶話会	12月15日(土)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	

平成30年度 自主事業報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
たんぽぽにつば たんぽぽ きたにつば	<p>【対象者】 地域の親子</p> <p>【目的】 地域の親子さんの繋がりづくり</p> <p>【実施内容等】 子育てボランティアグループたんぽぽにつばとの共催で毎月第2・4火曜日に開催している子育てサロン。</p>	毎月第2・4 火曜日 全20回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほく からふる	<p>【対象者】 地域の障がい児</p> <p>【目的】 地域に住む障がい児の余暇支援を目的とした事業</p> <p>【実施内容等】 港北区北部6館のケアプラザ共催 障がい児の余暇支援を目的とし、ケアプラザ担当地区内の障がいのある小・中・高校生を対象に外出、室内レクなど様々なプログラムを開催している。 今年度は、「オービイ横浜（中学生）」、「小田原城（高校生版）」、「上野動物園（小学生）」を開催した。</p>	6月23日（土） 10月26日（土） 2月23日（土）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドレミっぱ♪	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 音楽という誰もが楽しめる媒体を通して、ケアプラザに様々な世代の人々が集まり、よりケアプラザを知っていただくために企画。</p> <p>【実施内容等】 ・アルパ奏者 ・登録団体（アンサンブルビラ）による親子コンサート ・鶴見高校OB吹奏楽団によるファミリーコンサート</p>	7月22日（日） 10月10日（水） 3月10日（日）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
につばらっば フェスティバル	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 ケアプラザ・コミュニティハウスについて知っていただく。</p> <p>【実施内容等】 ・来場者数949名 新たに小学校読み聞かせボランティアのプログラム、パン販売、ラグビーブースなどプログラムを増やし、開催しました。</p>	年1回 11月25日

平成30年度 自主事業報告書

横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み 駆け込み 木工教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 夏休みの宿題をきっかけに小学生が足を運んでもらう機会とするため。</p> <p>【実施内容等】 どんぐりや木の実を活用してオリジナルの木工作品をつくる。</p>	8月25日（土）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
パーソナル カラー講座	<p>【対象者】 60歳以上</p> <p>【目的】 いくつになっても自分自身を大切にするため。</p> <p>【実施内容等】 自分に合ったカラーについて参加者同士で意見交換しながら知る。</p>	2月22日（金）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
パーソナル カラー講座	<p>【対象者】 子育てママ</p> <p>【目的】 子育てママが足を踏み入れてもらえるように</p> <p>【実施内容等】 自分に合ったカラーについて参加者同士で意見交換しながら知る。</p>	3月4日（月）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
にっぽらっぱ フェスティバル	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 ケアプラザ・コミュニティハウスについて知っていただく。</p> <p>【実施内容等】 ・来場者数949名 新たに小学校読み聞かせボランティアのプログラム、パン販売、ラグビーブースなどプログラムを増やし、開催しました。</p>	年1回 11月25日